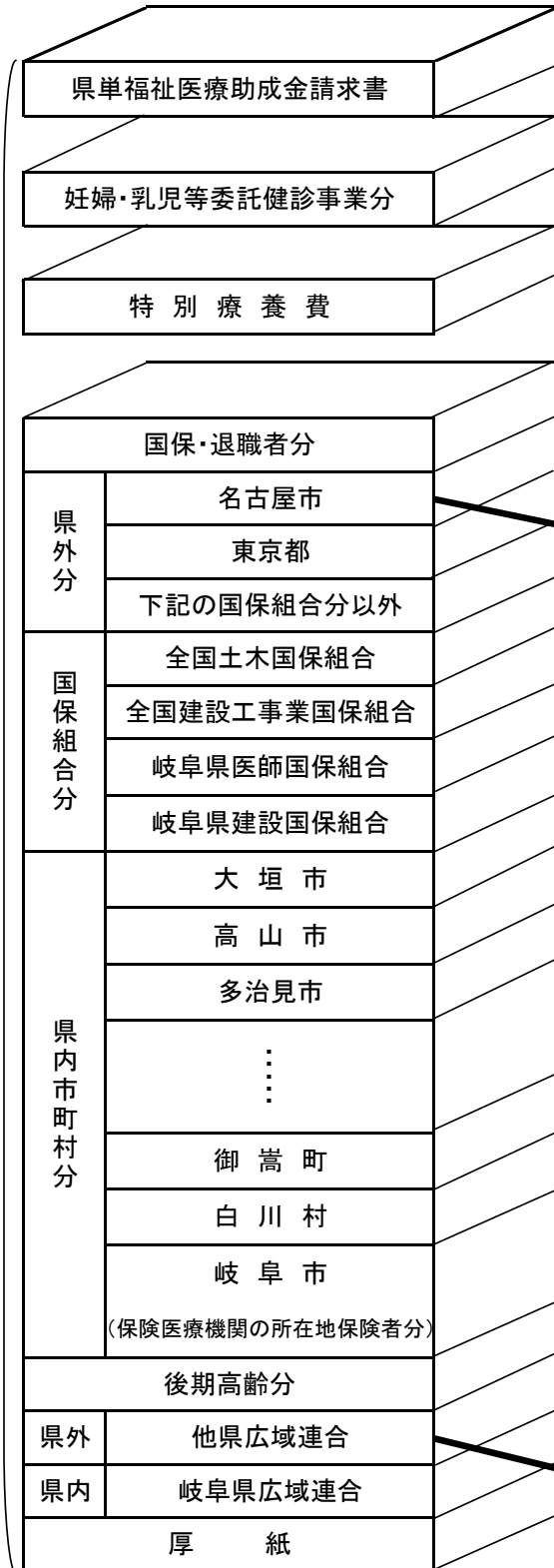


国保調剤報酬明細書の綴り方(調剤)

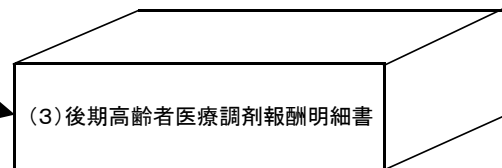
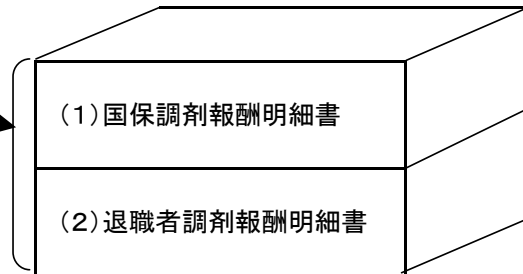
1. 全体の綴り方

【例】岐阜市の保険調剤薬局の場合



2. 各保険者別の綴り方

- ① 国保・退職者・後期高齢別に、請求書を付けて請求すること。
- ② 公費併用明細書は、公費負担番号順に請求すること。
- ③ 在総診又は在医総等算定明細書は、請求書を別とじにし、各保険者の最後に添付して請求のこと。
- ④ 国保・退職者は、左図の順(県外分・国保組合分・県内市町村分)に綴ること。
- ⑤ 後期高齢は、県外分・岐阜県分の順にし、一番下に綴ること。



(1) 国保調剤報酬明細書

請 求 書	
一般七〇以上一般・低所得	入院外(単独分)
	公費併用 入院外
一般七〇以上七割	入院外(単独分)
	公費併用 入院外
一般被保険者	入院外(単独分)
	公費併用 入院外
一般六歳	入院外(単独分)
	公費併用 入院外

(2) 退職者調剤報酬明細書

請 求 書	
退職本人	入院外(単独分)
	公費併用 入院外
退職被扶養者	入院外(単独分)
	公費併用 入院外
退職六歳	入院外(単独分)
	公費併用 入院外

(3) 後期高齢者医療調剤報酬明細書

(注)後期分は、都道府県広域連合毎に請求書を付ける。

請 求 書	
後期九割	入院外(単独分)
	公費併用 入院外
後期七割	入院外(単独分)
	公費併用 入院外